

愛媛大学大学院農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンター

柑橘シンポジウム2022

～カンキツの品種改良の現状と分子育種の展望～

開会挨拶

山田 寿（柑橘産業イノベーションセンター長）

講演

座長：小林 括平

（柑橘産業イノベーションセンター副センター長）

基調報告 愛媛県におけるカンキツ育種の実績と課題
（愛媛県みかん研究所長：二宮 泰造）

1. 分子カンキツ科学リサーチ・ユニットの活動総括
（柑橘産業イノベーションセンター副センター長：小林 括平）

2. カンキツのゲノム解析
（柑橘生産部門：羽生 剛）

3. ゲノム編集の基礎とカンキツへの応用を目指して
（柑橘生産部門：賀屋 秀隆）

閉会挨拶

武山 絵美（柑橘産業イノベーションセンター副センター長）

日時等

9月15日  13:30～15:30

農学部大講義室(学内者のみ)+オンライン開催
(Zoom, 定員300名, 事前登録制)

参加費：無料

概要

愛媛大学農学研究科では、愛媛県内の柑橘産業復興支援と発展を支援するため、平成30年に「愛媛大学大学院農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンター」を設置し、県や市町等と連携し活動を行ってきました。

本シンポジウムでは、「柑橘王国愛媛」の品種開発の成果や課題を共有するとともに、愛媛大学の分子カンキツ科学リサーチ・ユニットが取り組んでいるゲノム解析等についての研究内容を紹介し、カンキツ育種の将来の発展方向について議論します。

参加お申込方法

事前登録制としています。参加を希望する方は、右記QRコードからお申込みください。

または、申込フォーム <https://forms.office.com/r/6jHSZu82Kz>

柑橘産業イノベーションセンターホームページ <https://www.agr.ehime-u.ac.jp/ciic/>

からもお申し込み可能です。

（登録締切：2022年9月12日（月） 12:00 , 定員先着300名）

